

# 幻想集

世界の幻想的な物語にご招待。  
～welcome to fantasy～



曲げられないモノ

『鬼人幻燈抄 葛野編 水泡の日々』  
(中西モトオ／著 双葉社)  
舞台は江戸時代、葛野(かどの)の集落。幼い日にある男に拾われた甚太は、男の娘・白雪と生活を共にする。成長するにつれ2人は惹かれ合うが、お互いの役目や信念を曲げることはできなかった。想いが交差し、ぶつかり合いながら前に進む。この感覚を肌で感じられるこの作品、読めばあなたも虜になる。  
(矢板東高校 Bさん)

文豪たちの世界を覗いてみて。

『TVアニメ「文豪とアルケミスト～審判ノ歯車～」ノベライズ』上・下 (DMM GAMES／原作 熊谷純／シリーズ構成・脚本 市瀬まゆ／著 小学館)

本をこの世界から消し去ろうとする敵「侵蝕者」から本を守り、救うために「アルケミスト」の力によって転生した文豪たちの物語…。あなたはこの本を読んだ後、どんなことを思いますか…？きっと、あなたにも本を読む楽しさが生まれてくるはず…！  
(益子芳星高校 Mさん)



『また、同じ夢を見ていた』  
(住野よる／著 双葉文庫)  
「人生とは〇〇のようなもの」が口癖の‘私’は、1匹の猫と出会った。その出会いは、リストカットをしていた高校生‘南さん’、綺麗な大人の女性‘アバズレさん’といった様々な過去を持つ女性たちとの不思議な出会いに繋がrier。  
『君の臍臓を食べたい』で知られる住野よるさんが描く、幸せを探す感動的な物語。  
(宇都宮東高校 Aさん)

人生とは何か。幸せとは何か。

英雄たちの勇姿と最期

『ギリシア神話の光と影』  
(吉田敦彦／著 青土社)  
ギリシア神話でもっとも有名な英雄は誰？トロヤ(トロイア)戦争の花形にして、戦の申し子・アキレウス。最高神に匹敵する頭脳を持ちながらも、故郷に焦がれる男・オデュッセウス。彼らの友情、プライド、恋、そして神々の思惑が今、交差する。10年にも及んだ戦争の先に、英雄たちは何を見るのか…。  
(宇都宮南高校 Mさん)



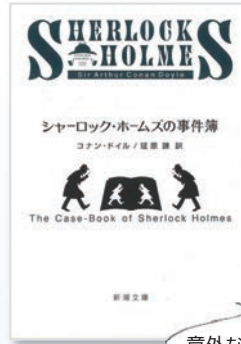
「幻想」を生み出す天才とは。

『天才の思考』(鈴木敏夫／著 文春新書)  
宮崎駿と高畑勲、二つの個性がぶつかり合うジブリで、どう作品と向き合い、完成させていったのか。名プロデューサー・鈴木敏夫の視点で明かされる。良い映画を作るために妥協しない完璧主義には驚かされっぱなしだ。この二人とやりあってきた鈴木敏夫もまた、天才なのだろう。  
(宇都宮北高校 Nさん)



# 思いがけない真実

“ありえないことを取り除くと、残ったものが  
どんなにありそうもないことでも、それが真実である”  
シャーロック・ホームズ  
『緑柱石の宝冠』(『シャーロック・ホームズ全集3』(河出書房新社)から引用)



『シャーロック・ホームズの事件簿』  
(コナン・ドイル／著 延原謙／訳 新潮文庫)

誰もが一度は聞いたことのあるシャーロック・ホームズという名前。ホームズの相棒である医師のワトソン。この2人と一緒に事件解決の鍵を探していくのが楽しくなって、ついつい時間を忘れて読み進めてしまいます。一つ一つが短編小説となっており、とても読みやすい作品集です。  
(栃木農業高校 Fさん)

意外な展開に追いつけるか

『本と鍵の季節』  
(米澤穂信／著 集英社)

例えば分類番号、例えば表紙。今まで何気なく見ているもの。あるいは気にも留めないもの。けれど、何気ないものほど見落としがち。所謂、灯台下暗し。私たちは「ちゃんと理解」しているだろうか。この本はまさにミステリーの裏表紙。その謎、今明かされん。  
(宇都宮東高校 Tさん)



謎は本とともに



『アリス殺し』  
(小林泰三／著 東京創元社)  
亜理は、自分が主人公・アリスとなる夢を見ていた。夢の中でハンプティ・ダンプティが亡くなり、犯人探しを始める。その一方で、現実の世界でも、亜理の周りで夢と同じような事件が起こり始める。そして最後にはアツと驚く大どんでん返し！  
(宇都宮南高校 Fさん)

夢と現実が交差するミステリー

『レジまでの推理』  
(似鳥鶏／著 光文社文庫)  
お客様は神様と言うけれど、本の知識では書店員に及ばない。そんな書店員でも、本が関わる事件の解決までは…できるんです！  
消えるはずのない本の紛失や有名作家のストーカー、そして店長の過去までも…「本屋ならではの」解決法で犯人を暴いていく。  
(宇都宮東高校 Tさん)



お取扱いは細心の注意を



『戦国武将の死亡診断書』  
(酒井シヅ／監修 戦国☆保健委員会／編著 エクスナレッジ)

安土桃山時代を生きた数々の戦国武将は如何にして戦国の世に散っていったのか？それは武将達の食生活、当時の流行病、そして地位などが深く関わっていた。現代の医学を用いて、そんな武将達がどのような最期を迎えたのかを考える一冊です。  
(宇都宮北高校 Tさん)

「武将たちの死」の真実